

No.159
7月号
 令和6年7月25日

みちくさ



金浜療護園 運動会 開催!!



6月2日(日)降り注ぐ陽射しの中第47回金浜療護園運動会が行われました。コロナ禍前と同じように開催できたのは、今年が初めてです。ご家族様からボランティアの参加もあり、大変ありがたく存じます。入居者様の競技はもちろんのこと、お子様方が参加する競技もあり、入居者様やご家族様、会場にいる全員が楽しめた運動会となりました。

<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害者支援施設 金浜療護園 ■ 指定特定相談支援事業所 かねはま ■ 居宅介護支援事業所「かねはま」 TEL 017-739-7208 FAX 017-739-4077 ■ デイサービスセンター かねはま TEL 017-739-7201 FAX 017-739-4482 <p>〒030-0144 青森県青森市大字大別内字葛野180番地 kinryo@isis.ocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">☺ 社会福祉法人 心和会 http://kanehama.jp</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 認知症対応型グループホーム あんしんハウス TEL 017-739-1477 FAX 017-739-1400 〒030-0852 青森県青森市大野字若宮151番19号 ansin-h@mail2.actv.ne.jp
--	--

ディズニーランド旅行



5月15日(水)～16日(木)、入居者様4名、職員5名で数年ぶりの旅行に行ってきました。



～ディズニーリゾートの旅～

一日目、飛行機に乗って羽田空港に到着後、タクシーでディズニーランド内にあるホテルへ向かい、荷物を置きいざディズニーシーへ。ダッフィーに会いに行き、一緒に写真を撮りました。昼食はリトルマーメイドのレストランでミッキー型のピザとポテトのセットを食べました。

二日目、ホテルをチェックアウトし荷物を預けディズニーランドへ。3Dメガネをかけ飛び出る映像のアトラクションを観ました。つぎにミッキーの家に行きましたが、人が多く残念ながらミッキーに会えず。でも、とても楽しい旅行でした。

(入居者 柴田様より)



防災訓練

令和六年四月十四日(日)、当園に於いて春の防災総合訓練が行われ、防犯訓練を開始する前に、能登半島地震で犠牲になられた方々へ黙祷を捧げ、被災地の復興を皆で祈りました。

指し通し、訓練では、消防本部の指導のもと、園内での火災を想定し、電話や実際に消防本部に出すための通報訓練を行いました。この機会に、消防本部の来客さんや、通報訓練の出発を待たせていただき、皆様にはご迷惑をおかけしました。この機会に、消防本部の指導のもと、園内での火災を想定し、電話や実際に消防本部に出すための通報訓練を行いました。この機会に、消防本部の来客さんや、通報訓練の出発を待たせていただき、皆様にはご迷惑をおかけしました。

令和6年度

社会福祉法人 心和会 事業計画

令和6年度の社会福祉法人心和会事業計画書の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

当法人は、昭和52年設立以来、今年で47年を迎えます。現在は85名入居定員と2名の短期入所の定員を持つ障害者支援施設金浜療護園、高齢の方と障害をお持ちの方がご利用しているデイサービスセンターかねはま、介護保険利用の調整を行う指定居宅介護支援事業所「かねはま」、高齢の方々が生活する認知症対応型グループホームあんしんハウス、障害をお持ちの方の相談を受ける指定特定相談支援事業所かねはまの5事業を運営しています。

令和5年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は5類へ移行し行動制限などの必要がなくなりましたが、気候の変動により、夏は最高気温の更新が数回起こるような猛暑と線状降水帯による局地的な大雨による災害、また令和6年1月1日には甚大な被害をもたらした能登半島地震などの災害がありました。被害にあわれました方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて令和6年度は、障害福祉サービスと介護保険サービスの改定が行われます。利用者が希望する生活を実現するための支援をより強化する体制の整備が求められています。それに伴う、提供サービスの質の改善と向上、その為の人材育成と確保のために職員の働きやすさの追及、長期化する戦争などの影響により物価高騰に対する備え、また頻発している災害への備え、さらに地域に必要とされている社会資源の構築と提供できる体制の整備をして、持続可能な開発目標（SDGs）が目指す『「誰一人取り残さない」社会』の実現に向けて努力してまいります。

当法人の経営理念『「敬愛」「互譲」「正義」「信奉」4つの真心で、地域に愛され、ともに歩む』を基に、利用者様には「施設を利用して良かった」、地域の方々には「施設があって良かった」、職員には「施設で仕事ができて良かった」と感じる事ができる施設づくりの為に、職員一丸となって取り組む所存です。今後とも、一層のご指導の程宜しくお願い申し上げます。

末筆となりましたが、皆様の益々のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年3月吉日
 社会福祉法人 心和会
 障害者支援施設 金浜療護園
 理事長 今 千佳子

・職員配置基準に対する配置状況

【金浜療護園[施設入所支援・生活介護事業・短期入所事業]】

令和6年3月31日現在

従業員の種類・員数	①生活支援員	②看護師	③理学療法士 (及び機能訓練指導員)	小計 (①+②+③)	サービス 管理責任者	医師
従業者数合計(人)	39(18)	6	4(3)	52(18)	1(4)	1[2]
常勤換算後の人数(人)	48.4	5.3	3.7	57.4	2	0.1
基準上の必要人数(人)	1	1	1	39.4	2	
	39.4 R2年度平均利用者数より算出					
	管理者(園長)	管理栄養士	調理員	事務員	合計	
従業者数合計(人)	1	1	8	2(10)	61(32)[2]	
常勤換算後の人数(人)	1.0	1.0	6.8	3.9	72.2	
基準上の必要人数(人)	1	1			43.4	

※()は兼務職員数、口は嘱託

施設年間行事計画

月別	行 事	備 考
令和 6年 /4月	防 災 総 合 訓 練 花 見 会 ク リ ー ン 作 戦	災害による非常事態に備え、地区消防団と防災業者を交え総合訓練を実施する 自然に親しみを持っていただく。 地域道路清掃奉仕活動
5月	家 族 会 役 員 会	施設側と家族会で行事等の打合せ
6月	運 動 会	体力向上とレクリエーションを目的として開催
7月	療 護 園 祭	模擬店、カラオケ、花火等を催し、家族、地域住民との交流を図る
8月	お 盆 帰 省	先祖供養の墓参りと家族との交流
9月	地区共同防災訓練	避難所の提供を想定した訓練
10月	家 族 会 役 員 会 家 族 会 総 会 防 災 総 合 訓 練	家族会の行事及び総会について協議する 前年度事業実績及び決算、新年度事業計画及び予算等報告 災害による非常事態に備え、地区消防団と防災業者を交え総合訓練を実施する
11月	文 化 祭	利用者と職員合同の各種演技等の発表と作品展示
12月	忘 年 会 年 末 (正 月) 帰 省	1年間の生活を振り返り、パーティーを開催し、懇談する 家族とのふれあいを図り、絆を深める
令和 7年 /1月	新 年 会	新しい年を祝って会食する
2月	節 分 室 内 ゲ ー ム 大 会	園の食堂で豆まきを行う 入居者・職員、皆でゲーム大会などを楽しむ
3月	洋ラン祭り見学	平内町夜越山の洋ランまつり見学

※ 誕生会・外出支援・避難訓練・ふれあい広場は毎月実施します。

{ ふれあい広場とは……利用者職員が、行事運営や諸問題について広く意見を交換しあい、生活向上の推進を図る目的で開催されています。 }

令和6年度

収 支 予 算 書

(自)令和6年4月1日
(至)令和7年3月31日

単位(円)

勘 定 科 目		予算額	
事業活動による収支	収 入	介護保険事業収入	97,153,649
		障害福祉サービス等事業収入	476,808,654
		その他の収入 他	1,884,000
	事業活動収入計(1)		575,846,303
	支 出	人件費支出	364,066,676
		事業費支出	105,594,841
		事務費支出	85,265,270
		社会貢献活動費支出 他	2,756,120
事業活動支出計(2)		557,682,907	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		18,163,396	
施設整備等による収支	収 入		
		施設整備等収入計(4)	0
	支 出	設備資金借入金元金償還支出	14,712,000
		固定資産取得支出	9,180,000
	施設整備等支出計(5)		23,892,000
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 23,892,000	
その他の活動による収支	収 入	積立資産取崩収入 他	33,300,000
		その他の活動収入計(7)	33,300,000
	支 出	積立資産支出 他	25,038,000
		その他の活動支出計(8)	25,038,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		8,262,000
予備費支出(10)=(3)+(6)+(9)		2,533,396	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	
前期末支払資金残高(12)		332,976,561	
当期末支払資金残高(11)+(12)		332,976,561	

令和6年度 指定居宅介護支援事業所「かねはま」事業計画書

運営方針（今年度計画）

この事業所が行う居宅介護支援事業は、高齢者が要介護状態となった場合においても可能な限り居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるように支援することを目的としています。

居宅介護支援の提供にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて利用者の選択に基づき適切な保険医療サービス及び福祉サービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮し、その人らしい自立支援に向けた適正なケアプランづくりに心掛けます。その際、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って、利用者に提供される指定居宅サービス等が特定の事業者に不当に偏る事のないよう、公正中立に行いその事業の実施に当たっては、市町村、他事業所との連携に努めます。

○相談窓口

①月曜日～金曜日まで（12月29日～1月3日までと国民の祝日を除く）
8：00～17：30まで 担当の介護支援専門員が対応します。
電話：017-718-7181 FAX：017-718-2166

②土、日、祝祭日及び夜間(17：30～8：00)の介護支援専門員不在時でも携帯電話への転送により24時間対応可能です。
電話：017-718-7181 FAX：017-718-2166

令和6年度 指定特定相談支援事業所かねはま 事業計画書

運営方針（今年度計画）

「指定特定相談支援事業所かねはま」は、利用者（障害者またはそのご家族）の意思、人格、意向を尊重しながら、利用者に適切で効果的な福祉サービス利用をして頂くことを目的とし、身体障害者のみを対象とした相談支援事業所として青森市より指定を受け、現在に至ります。

特定相談支援事業は、利用者の一般的な相談、困り事や悩み事を考え、障害福祉サービス等を利用するにあたって、各市町村がサービスの支給決定する際に、その利用に向けた「サービス等利用計画案」を作成します。

支給決定後は、障害福祉サービス事業者等との連絡調整等を行い、その後「サービス利用計画」を作成します。

そして福祉サービス利用後は定期的なモニタリングを行いながら、利用者により良いサービス利用をしていただくことができるよう、必要に応じて障害福祉サービス等の支給決定や支給量の変更、更新といったサービス利用の調整を行います。

また、昨今の感染症にも、できる限りの対策を講じながら利用者により充実と安心した生活をしていただくことが出来るように、最大限の努力と支援を継続します。

利用者のニーズに応え、より充実した生活やサービス提供のお手伝いができるよう、研修等に参加し、相談支援専門員として自己研鑽に努め、関係機関・事業所・団体等との連携を強化します。

特に昨今は地域で暮らす障害者の日常を支援するため、所轄する青森市を中心に様々な協力体制が求められており、できる限り協力しながら業務を遂行します。

そして、障害者が自立した日常生活や社会生活ができるように、また、障害者やそのご家族等の心身の状況やその置かれている環境に応じて、障害者やそのご家族の自己決定に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労、教育などの福祉サービスが、多様な事業所等から総合的に且つ効率的に提供できるように配慮し、不当に偏ることがないように公正中立に行います。

○営業日及び営業時間

営業日：月曜日～金曜日まで（12月29日～1月3日までと国民の祝日を除く）
営業時間：7：55～17：30まで

○相談窓口：相談支援専門員

担当 電話：017-739-7208 FAX：017-739-4077

令和6年度 デイサービスセンターかねはま 事業計画書

運営方針（今年度計画）

デイサービスセンターかねはまでは、「地域密着型通所介護」と「介護予防通所介護相当事業（総合事業）」の2つの事業を行っています。

「地域密着型通所介護」は、在宅で生活する65歳以上の高齢者又は、特定疾患（障害）を持っている要介護と認定された方に対しサービスの提供を行っています。

また、「介護予防通所介護相当事業（総合事業）」は、平成29年4月に介護保険法が改正され、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）として、各市町村（青森市）が主体となって行われており、当事業所が要支援者と認定された利用者の介護の予防を目的としたサービス提供を行っています。

いずれの事業も通所によるサービスであり、地域で暮らす利用者に対して送迎・入浴・食事・身体介護・機能訓練・健康指導・創作活動・相談援助などを通して、利用者が住み慣れた地域で、皆で支え合いながら、できる限り自立し、生きがいを持った日常生活ができるよう、また、家庭に対してもサービスを通して、身体的、精神的な負担の軽減のお手伝いができるように支援します。

地域との連携、地域共生社会が強く求められる中、利用者の孤立感の解消や社会参加、地域との良好な関係構築のためにも、地域の代表者等を交えながらの運営推進会議を核に、情報報告・開示により事業所の透明性の確保をしながら、貴重な意見等を頂き、地域住民・関係機関・各事業所・団体・関係者等との連携を強化していきます。

また、近年は大雨などの自然災害や様々な感染症が多く、特に新型コロナウイルス感染症に伴い今後の先行きがいまだ不透明な中、感染症対策と安全確保に万全を期し、そして利用者確保対策のためにも積極的にPR活動を行いながら、目まぐるしい環境の変化に随時柔軟に対応できる質の高いサービスの提供を目指します。

日課計画表

8:00	9:30	10:30	12:00	13:00	14:00	16:00
送迎車運行	健康チェック (体温、血圧)	入浴 ○機能回復訓練(終日)	嚥下体操 昼食	マッサージ 相談援助	○レクリエーション(14:00~)	送迎車運行
	相談援助	車椅子操作訓練 トランスファー訓練 食事動作訓練 更衣動作訓練 トイレ動作訓練			クロスワード、風船パレー、ぬり絵、カラオケ、学習、パソコン、音楽鑑賞、ゲーム、集団体操など	
					○創作活動(13:00~)	
					陶芸・生け花・書道・手芸	

利用定員

通所介護 1日 15名

利用日及び料金

月曜日から金曜日まで（但し、国民の祝日、休日及び年末年始お盆等を除く）
利用料 介護保険報酬の規定通り

業務時間

午前7時55分から午後5時30分まで（利用提供時間 9:30 ~ 16:00）

令和6年度 認知症対応型グループホームあんしんハウス 事業計画書

運営方針

ホームの理念である「敬愛」・「安心」・「共生」の精神を職員、入居者がそれぞれ強く認識して、入居者の皆様がその人らしく生きる姿を、温かな心と確かな専門性をもって支えます。また、その人の有する能力を見極め、発揮する機会と活躍の場を提供します。ホームがお世話になっている地元の若宮町会や青森市おおの地域包括支援センター、日赤ボランティアの方々とは、様々な行事や運営推進会議などを通じ交流を図ることで、地域に根ざしたホームを目指していきたいと思います。

利用定員

2ユニットタイプ(9人×2ユニット=18人)

認知症対応型グループホームあんしんハウス年間行事計画

月別	行 事	備 考
4月	花 見 会	さくらの花などを見物して、心を和ませる。
5月	総 合 防 災 訓 練	災害による非常事態に備え訓練を実施する。
6月	金浜療護園運動会参加	体力向上とレクリエーションを目的として参加する。
7月		
8月	ねぶた祭見学 金浜療護園祭参加	模擬店、カラオケ、盆踊り、花火大会等の催しを楽しむ。
9月	敬 老 会	長寿を祝う。
10月	紅 葉 見 物	紅葉を見物しながら、自然に親しむ。
11月	金浜療護園文化祭見学 総 合 防 災 訓 練	各種演芸の発表見学と展示作品の見学。 災害による非常事態に備え訓練を実施する。
12月	ク リ ス マ ス 会	クリスマスを楽しむ。
令和 7年 1月	合 同 新 年 会	利用者・職員が新しい年を祝って会食する。
2月	節 分	豆をまき今年1年の無病息災を願う。
3月	ひ な 祭 り	昔ながらの催しを楽しむ。

お誕生日おめでとうございます

金浜療護園 誕生者

7月 神 様 辻村 様 工藤 様
桜庭 様 鹿内 様 山崎 様

8月 小鹿 様 奥崎 様 藤谷 様
小鹿 様 佐々木 様 青山 様

9月 吉田 様 川口 様 鈴木 様 濱野 様
佐藤 様 種市 様 中村 様

グループホーム

あんしんハウス 誕生者

7月 八木橋 様 山田 様

8月 工藤 様

9月 原 様 千島 様

デイサービス 誕生者

7月 清水 様 小友 様 其田 様
清水 様 大村 様 野上 様

8月 山下 様 戸澤 様

9月 工藤 様 斉藤 様
若狭 様

HAPPY
BIRTHDAY

行事予定

7月

3日(水) 日光さる軍団慰問
10日(水) 誕生会
17日(水) ふれあい広場
28日(日) 療護園祭

8月

7日(水) 青森花火大会
14日(水) 誕生会
21日(水) ふれあい広場

9月

4日(水) 誕生会
18日(水) ふれあい広場

※日程は変更になる場合がありますのでご了承ください。

リハビリ便り

7月に入り、蒸すような暑さに見舞われる今日この頃、金浜療護園では熱中症対策として各居室に扇風機の設置や水分強化などが始まりました。昨年夏に各棟に冷房が設置され、入所者様はとて快適に過ごすことが出来ていると思います。

リハビリは3年程前からコロナ感染対策の為デイサービスと入所とで分かれておりましたが、今年から互いの場所へ行き来が可能になりました。リハビリの場所もデイサービスの方へ戻り、新たな職員とともに入所者様・デイサービス利用者様のリハビリを行っています。

リハビリ以外に日中活動にも今年から関わるようになり、「ミニ四駆作り」や「ちぎり絵」など細かい作業なども行ってまいりました。こうして出来上がった作品は入所者様のお部屋に飾り、作ったご本人様も喜ばれておりました。

最後に、昨年から変わりつつあるリハビリですが、これまで通り入所者様との関わり合いを大切に、また新たにデイサービス利用者様とも信頼関係を築けるよう今後も務めさせていただきます。

✽ 編集後記 ✽

じめじめした梅雨が続いている季節ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。花見やディズニーランド旅行などのお出かけをはじめ、運動会や避難訓練など、諸々のイベントがつつがなく行われ、当法人としては充実したスタートを切ることができました。大きなイベントとして療護園祭も7月末に控えております。これから暑くなってまいりますので、水分補給に気を配りながら、元気に夏を乗り切っていきましょう！